



方面總監統率方針
任務完遂

発行所

〒664-0012
兵庫県伊丹市緑ヶ丘7-1-1
電話…072(782)0001

陸上自衛隊
中部方面總監部広報室

笑顔と故郷を

取り戻すために JTF

10月12日(土)から13日(日)にかけて、大型で強い台風19号が関東・東北地方などに記録的な大雨をもたらし、長野県、栃木県、茨城県、宮城県、福島県など71の河川の堤防決壊などにより、広域に浸水被害が発生した。

中部方面隊(總監 野澤陸将)は、14日(月)航空機9機からなる中部方面航空支援隊を東部方面隊の指揮下で活動させるのを皮切りに、総員約200名からなる中部方面入浴支援隊を東部方面隊及び東北方面隊の指揮下で活動させ、

総員約130名からなる中部方面施設支援隊も15日(火)より東部方面隊の指揮下において、被災者の生活支援活動に従事させた。さらに、JTF司令部に延べ14名の増強幕僚を派遣した。派遣された中部方面隊の各隊員は、「笑顔と故郷を取り戻すために JTF」を合言葉に、災害派遣活動に従事した。

※ JTF…統合任務部隊 (Joint Task Force)



中部方面後方支援隊 (佐野市)



第6施設群(栃木市)

災害派遣

令和元年台風19号に係る災害派遣



飛行準備 中部方面航空支援隊(相馬原飛行場)



入浴支援 本宮市 第3後方支援連隊(本宮市)



入浴支援 第10後方支援連隊(丸森町)



現地調達 中部方面会計隊(宇都宮市)



土砂除去 第7施設群(栃木市)

中部方面隊ウェブサイト



中部方面隊 SNS



無線中継 中部方面通信群(栃木市大平山)



交通統制 中部方面警務隊(栃木市)

隊員の活動を紹介中!

中部方面隊創隊59周年記念行事

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、10月6日（日）伊丹駐屯地において、中部方面隊創隊59周年記念行事を挙行了した。記念式典は、10名の国会議員、各自治体首長、各府県防衛協会、各協力団体等多数の来賓、内閣総理大臣の祝電を得て盛大に行われた。

記念式典に引き続き行われた観閲行進は、観閲部隊指揮官（第3師団副師団長 関口将補）を先頭に、人員約1,000名、車両約170両、航空機9機が参加し、堂々たる行進を披露した。



令和

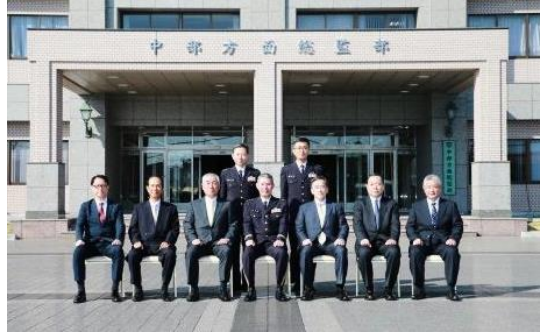
～ Beautiful Harmony ～



訓練展示



観閲行進



歴代総監との記念撮影

5日（土）には、記念行事に先立ち、歴代総監会同及び感謝状贈呈式を行った。歴代総監会同では、折木氏（第25代）、火箱氏（第27代）、角南氏（第28代）、荒川氏（第29代）、山下氏（第32代）及び鈴木氏（第33代）の6名の出席を得て、方面隊の現況等について意見交換を行った。

また、感謝状贈呈式では、一般、就職援護、募集及び予備自衛官等雇用協力にいただいた各種功労団体27個及び個人28名に対して、感謝状を贈呈した。

総監初度視察

守山・海田市駐屯地

自衛隊愛知・自衛隊広島地方協力本部

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、10月10日（木）海田市駐屯地及び自衛隊広島地方協力本部を、また17日（木）守山駐屯地及び自衛隊愛知地方協力本部の総監初度視察を実施し、状況報告及び隊内巡視により各部隊等の現況を把握した。

巡視後の総監訓示において、各師・旅団では、若い力と斬新な発想で「改善・進歩」させる気概を諭し、各地方協力本部では、募集こそが我々の喫緊の課題であり、その克服の最前線に広報官がいることを諭して激励した。



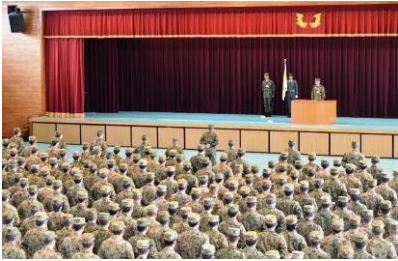
庁内巡視（自衛隊広島地方協力本部）



巡 閲（海田市駐屯地）



庁内巡視（自衛隊愛知地方協力本部）



訓 示（守山駐屯地）

方面総監直轄部隊訓練検閲

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、10月10日（木）から17日（木）までの間、各直轄部隊に対し、青野ヶ原演習場、日本原演習場及びあいは野演習場において、訓練検閲を実施した。

本検閲は、中部方面航空隊（隊長 藤田1佐）、中部方面後方支援隊（隊長 榎林1佐）及び中部方面衛生隊（隊長 岡部1佐）の教育訓練における成果を評価して、その進歩向上を促すことを目的として実施した。

中部方面航空隊

（人員約470名、航空機16機、車両約110両）は、青野ヶ原演習場において、隊長要望事項「指揮の要訣の実践」「敵を意識した行動」「安全管理の万全」のもと、検閲を受閲した。

中部方面後方支援隊

（人員約430名、車両約170両）は、日本原演習場において、隊長要望事項「守れ。戦え。」のもと、検閲を受閲した。

中部方面衛生隊

（人員約110名、車両約40両）は、日本原演習場において、隊長要望事項「各人の任務・役割に応じた目標の確立と追及」「物品管理」「安全管理」のもと、検閲を受閲した。



ヘリへの積載



野外整備



車両の偽装



築城



野外手術システムの開設



患者への処置

国連PKO早期展開支援（RDEC）

第4施設団

第4施設団（団長小谷将補）は、10月23日（水）令和元年度国連PKO早期展開支援（RDEC）への教官要員等のベトナム派遣に伴う壮行行事を大久保駐屯地において実施した。

また、同日、総監への出国報告を行い、第6施設群第3科長（大塚3佐）以下17名の派遣隊員は、総監より激励の言葉を頂いた。派遣隊員は、26日（土）から約8週間、ベトナム人民軍の工兵要員に対し、重機の操作や整備教育を行う。



総監への出国報告



壮行行事で見送られる隊員

災害時等の堺2区先端緑地の占用に関する協定

中部方面隊

大阪府堺市近畿圏臨海防災センター



締結式

この締結により、大規模災害発生時、中部方面隊が大阪で災害派遣活動に従事する際、臨海防災センター内に部隊の集結、物資の集積等の占用ができることになった。

全国防衛協会青年部会「山口大会」

10月16日（水）・17日（木）、山口県防府市での全国防衛協会青年部会の活動を支援した。16日（水）に防府グランドホテルで記念式典が実施された。翌17日（木）には、航空自衛隊防府北基地において、基地司令講話、分屯地司令講話、ヘリ体験搭乗等が行われた。



航空機展示



ヘリ体験搭乗

告知 中部方面隊音楽まつり



陸上自衛隊 中部方面隊 音楽まつり ~Beautiful Harmony~
令和2年1月12日(日)
兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
第1回公演 開演10:30(開場09:30)
第2回公演 開演18:30(開場17:30)

ふあみさほ通信 (連載:第35回)

姫路駐屯地業務隊は、兵庫県北部から中西部にわたる8市8町を家族支援担当地域として、同地域に所在する姫路・揖龍(いりゆう)・西播磨・但馬の4個支部の家族会と連携して、災害時における隊員家族の安否確認態勢を構築している。平成28年度に隊員家族と家族会会員との割当てを概ね完了する等、態勢確立に向け本格的にスタートした。平成29年度からは、南海レスキュー訓練に併せて電話連絡訓練を行っている。本年度は、家族会姫路支部総会時に新たに「家族支援施策説明会」を実施した。ほぼ全ての会員に対し直接説明することで施策への理解を促進するとともに、可能な限りの協力への賛同を得た。また、総会后、家族会会員と災害派遣出動時に支援を要望する隊員・家族との顔合わせ会を実施した。和やかな雰囲気の中、お互いの信頼を深めることができ、来年度以降、総会後の恒例行事として顔合わせ会を実施することで意見が一致した。今後は、他の3個支部の家族会について、家族会会員と支援要望隊員・家族との顔合わせ会を実現すべく連携を更に深化させ、より充実した家族支援態勢の構築に鋭意努力する所存である。

姫路駐屯地



家族支援説明会・顔合わせ会



CSMの提言



中部方面衛生隊 第104野外病院隊 (伊丹駐屯地) 先任上級曹長 准陸尉 後藤 めぐみ

「人生の選択について」

皆さんの中には、結婚した後、共働きの方が良いか、どちらかが家庭に入った方が良いか、または独身を謳歌するか等、これからの人生を決めかねている方が多くいらっしゃると思います。結論から言うと、どの人生が一番幸せなのか私にも分かりません。ただ言えるのは、人にはそれぞれ的人生があり、そのうちの大体のことは自分で選択ができるということだと思います(中には選択の余地がない事象もあります)。



家族との記念の一枚

私は、結婚し、共働きの人生を選択。26歳の時に双子の女兒を出産(双子を授かったことは、選択の余地がない事象に入ると思いますが)、職場や両家の実家と夫の協力を得て、なんとか仕事と家事・育児を両立させてきました。振り返ると、双子が幼いころは本当に大変でした。でも、その分喜びもありました。娘たちが高校生になったころ、中期実員管理で東方から中方に全国異動することを選択し、現在に至っています。今年、双子の一人は航空自衛隊に入隊、もう一人は結婚する運びとなりました。私の仕事をする姿と、家庭での姿の両方を娘たちに見せてきたことは、二人の人生の選択に少なからず影響を与えたかもしれません。人生は、選択の連続です。自分や周囲の人々にとって最良だと思える選択をし、より良い人生になりたいと思います。

地本のチカラ

(連載第15回 :岡山地本)

自衛隊岡山地方協力本部(本部長山根1佐)は、7月16日(火)倉敷市主催の倉敷市民会館で実施された「復興コンサートin倉敷」一届け、復興への想い」を支援した。本コンサートは、平成30年7月豪雨において甚大な被害を受け、今なお道半ばにある倉敷市真備地区の復興を後押しし、被災者が少しでも元氣を取り戻されることを目的として、倉敷市により計画され、航空中央音楽隊の支援を得て実施した音楽コンサートであり、当日は倉敷市真備地区の被災者を含めた多くの観客が来場された。コンサートは、豪雨災害により犠牲になられた方々に対する黙禱から始まり、二部構成で開催された。第一部は、航空自衛隊らしく航空機や翼をテーマに、第二部は、航空中央音楽隊の隊員が作曲した作品や倉敷市出身の有名人名人にまつわる曲等が演奏され、観客は大いに盛り上がった。特に、音楽隊の隊員が、倉敷市真備地区の復興を想い作曲した「想(おもい)」は観客にとってサプライズプレゼントになったようであり、「感激で涙が込み上げてきた」との感想が倉敷市役所に数多く届いたそうである。航空中央音楽隊に深謝するとともに、自衛隊岡山地方協力本部としては、今後も岡山県民の気持ちに寄り添えるように、本部長要望事項である「一歩前進」を胸に活動し続ける。

航空中央音楽隊復興コンサート 一届け、復興への想い



多くの観客を魅了